

平成13年度 個別課題見直し表（継続分）

部局名 健康福祉部

課 題 名	県有社会福祉施設活性化推進事業について
-------	---------------------

1 論点の概要

少子高齢社会、社会福祉基礎構造改革、民間施設の整備拡充、地域福祉の多様なニーズ等の社会情勢の変化に対応するため、今後の県有社会福祉施設のあり方を総合的に検討する。

具体的には、厚生事業団が受託運営している「いなば園」、「明星園」、「身体障害者総合福祉センター」は、県の関与が必要な分野を除いて廃止の方向で見直しを進めている。

「草の実りハビリテーションセンター」、「あすなる学園」、「はばたき」の3施設は、施設職員の意識改革や公的関与が必要な部分を明確化するため、部内検討会と併せて経営分析調査をコンサルタントに委託し、施設の適正化を推進する。

2 見直しの成果

平成11年度は、以下の事項について成果をあげている。

明星園は、特別養護老人ホームを県立で持つ意義は見いだせないことから、県立施設としては廃止する。

いなば園の関係機関に対してアンケート調査を実施し、ニーズの把握、分析を行った。

あすなる学園は、コンサルタント委託し、経営の問題点を明らかにした。

3 今後の見直しの方向

「明星園」は、本年8月に公募を実施し、本年度中に移譲先を決める予定である。

「いなば園」は、県の関与が必要な分野を除いて、民間に移譲する予定である。

そのうえで、繰り入れルールを明確にし、一般的な委託事業については、一定の期間後に原則として繰り入れを行わない経営のあり方について具体的計画の策定を行う。

「草の実りハビリテーションセンター」、「あすなる学園」、「はばたき」の3施設は、経営コンサルタントを活用して経営診断等を行い部門別の収支構造を分析、収支悪化の原因を明らかにし、その改善策を策定する。